

# 7

# 戦略プロジェクト

## 1 7つの重点方向

主要施策のうち、4年間に重点的・優先的に取り組む「戦略プロジェクト」を選定する考えを示したものです。



### 神奈川の力を生かした産業活力ある基盤づくり

神奈川は全国でも遅く人口減少に転じることから、人口が減少する時代にあっても、神奈川に活力を生み出し続けるための基盤づくりを着実に進めていく必要があります。この

ためには、インベスト神奈川、かながわツーリズムなど、これまでの取り組みを一層発展させ、神奈川の力を結集して県内産業全体の活力を高めていく必要があります。



### 安心してともにくらせる地域社会づくり

これまでの取り組みを通じて、犯罪のない安全なまちづくりのための取り組みが育っています。こうした取り組みを一層広げて、地域の安全を確保するとともに、保健・医療・福祉や

消費生活などを含めた安心なくらしの確保など、生活全体の安全・安心の充実に向けた対応を図る必要があります。



### 高齢者が力を生かすしくみづくり

神奈川は全国でも高齢化が急速に進むことが見込まれています。今後、2010年までの4年間に、戦後の第一次ベビーブームで生まれた団塊の世代が大量退職を迎え、地域社会での一層の活躍が期待されることから、

高齢者がこれまで培った経験を生かして社会を支えるとともに、健康で心豊かなくらしをおくるためのしくみづくりを進める必要があります。



### 明日の神奈川を拓く次世代づくり

神奈川では、1人の女性が一生の間に生む子どもの数を示す合計特殊出生率が、2006年には1.23と全国の1.32を下回るなど、少子化が進行しており、子どもを安心して生み育てられる社会環境を築くことが急務と

なっています。また、社会問題となっている虐待やいじめ、不登校の問題への対応をはじめ、子どもが社会の中で健やかに、明日を拓く次世代として育まれていくための取り組みを進める必要があります。



### 地球環境の保全と持続可能な社会づくり

温暖化対策の推進など地球環境問題への対応や、持続可能な社会に向けた取り組みの強化が求められています。マイアジェンダ制度など、これまでの取り組みを通じて県民意識が高まり、

NPOや県民による取り組みも広がるなかで、環境政策の充実・強化を図る必要があります。



### 地域の特性を生かした活力と魅力ある地域づくり

神奈川では引き続き人口が増加する地域がある一方、既に人口の減少が見られる地域もあります。また、少子化、高齢化の進行など、地域をめぐる様々な課題が生じています。このため、県全体として質的にバラ

ンスある発展を図るという考え方を基本に、地域がもつ特性や資源を生かした地域づくりを進めていく必要があります。



### 新しい公共を担う地域のしくみづくり

人口が減少する時代に向けて、人々の生活ニーズに応えるくらしやすい地域社会を築くためには、お互いに支えあう地域のしくみづくりを着実に

に進めることで、地域で支えあう力を高める必要があります。

## 2

# 重点的・優先的に取り組む 38の戦略プロジェクト

この4年間に、重点的・優先的に取り組む  
38の戦略プロジェクトを示しています。

政策分野	戦略プロジェクト名	ページ
産業・労働	1 地域産業力の強化と神奈川R&Dネットワーク構想の本格的展開	21
	2 強いベンチャー企業の育成と重点分野の振興	21
	3 産業集積の促進と海外との経済交流の推進	22
	4 かながわツーリズムの推進	23
	5 地域に根ざした産業の振興	24
	6 農林水産業の新たな展開	25
	7 就業支援の充実と産業人材の育成	26
健康・福祉	8 とともに生き、支えあう地域社会づくり	29
	9 高齢者が安心してくらするしくみづくり	29
	10 障害者の地域生活を支えるしくみづくり	30
	11 安心してくらする地域保健・医療体制の整備	31
	12 保健・医療・福祉人材の育成・確保	31
安全・安心	13 事件・事故のない安心してくらする地域社会づくり	35
	14 大規模地震に備えた対応力の強化	36
	15 安全で安心な食生活・消費生活の確保	37
教育・子育て	16 子ども・子育て支援のしくみづくり	39
	17 支援を必要とする子ども・家庭への総合的な対応	39
	18 青少年が心豊かに育ち、自立できる社会づくり	41
	19 不登校、いじめ、暴力行為への総合的な対応	42
	20 子どもたちが未来を拓く力を伸ばす教育の推進	42
	21 かながわの学校力を高める教育環境づくり	43

政策分野	戦略プロジェクト名	ページ
県民生活	22 食育の総合的な推進	45
	23 多文化共生の地域社会づくり	46
	24 男女共同参画社会の実現	47
	25 多様な主体が公共を担う協働型社会の実現	48
	26 文化芸術・スポーツを楽しむ環境づくり	50
	27 新たな情報化社会かながわの推進	51
	28 地球温暖化対策の推進	53
環境	29 循環型社会づくり	54
	30 丹沢大山の自然再生の推進	56
	31 都市と里山のみどりの保全と活用	57
	32 水源環境の総合的な保全・再生	58
県土・まちづくり	33 羽田空港の再拡張・国際化と京浜臨海部活性化	61
	34 三浦半島の魅力あふれる地域づくり	61
	35 環境共生モデル都市圏の形成	62
	36 相模湾沿岸地域の魅力の保全と創造	62
	37 交流・連携による県西地域の活性化	63
	38 安全で活力ある県土づくり	63





### 3 38の戦略プロジェクト

〔凡例〕

#### 政策分野のページ

**産業・労働**

● 政策分野をあらわしています。

● 基本構想で掲げた神奈川の将来像をめざし、どのような方向で取り組むのかを示しています。

● 施策の方向

● ものづくりやサービスの提供により、地域の経済に重要な役割を果たす中小企業の経営を安定させ、活性化させるため、中小企業を技術面、経営面、資金調達面から支援します。

● 「インベスト神奈川第2ステージ」による企業誘致に取り組むとともに、新しくつくられた研究所と地元の中小企業などが技術面で連携する「神奈川R&Dネットワーク構想」の取り組みを進めます。また、ベンチャー企業が次々と生まれ、育っていく環境をつくっていくとともに、IT/エレクトロニクス、バイオ、自動車といった神奈川が強みをもつ産業を強化します。さらに、産業技術センターを中心として、新たな技術や新製品を開発する中小企業への技術支援を拡大していきます。

#### 戦略プロジェクトのページ

**戦略プロジェクト4 かながわツーリズムの推進**

● 戦略プロジェクトの番号と名称を示しています。

● 今後4年間に、プロジェクトとして何を重点的、優先的に取り組んでいくのかを示しています。

● 今後4年間に取り組む主な事業の内容を示しています。

● 単年度または累計の別を示しています。暦年のものには を付しています。

● 今後4年間で達成しようとする目標を、できるだけ数値で示しています。

● 戦略プロジェクトの実施に当たっては、県民、NPO、企業、市町村、県などが、課題に対してそれぞれの役割分担により、協働・連携して取り組むことが大切です。そこで、主な担い手ごとに期待される役割を例示しました。これらの役割は固定されたものではなく、連携した取り組みを進める中で、検証していく必要があると考えています。

● 戦略プロジェクトのねらい

● 取り組み事業

● 現状(2006年度) 165,086千人

● 2010年度の目標 170,000千人

● 「かながわの名産100選」のPR

● 主な担い手ごとに期待される役割(例)

● 県民、NPO  
地域におけるホスピタリティへの取り組みなど

● 企業(事業者)  
地域と一体となった良質なサービスの提供など

● 市町村、市町村観光協会  
地域資源を生かした誘客宣伝活動や観光情報の提供など

● 県、県観光協会  
広域的な誘客宣伝活動や観光情報の提供など